

新たな生産基盤で農業振興

— 京都府営ほ場整備事業
記念碑除幕式及び竣工式 —

2月17日、八木町室橋、諸畑、野条、池上地区のほ場整備が完成し、記念碑の除幕と竣工式が行われました。この事業は平成11年から始まり、129・3ヘクタールの耕地を整地し、用排水路、道路、耕地の集団化などの整備が行われ、効率的で生産性の高いほ場へと整備されました。式典で川東地区ほ場整備推進協議会の明田勝郎副会長は「地域農業の中核となり、高度な利用が推進されることを期待する」とあいさつされました。



▲竣工式であいさつする明田勝郎副会長(八木農村環境公園「氷室の郷」)

長期的な行財政運営を図る

— 第3次南丹市行政改革
大綱策定に係る答申 —



▲的場信樹行政改革推進委員会会長(左)から佐々木市長へ答申

第2次南丹市行政改革大綱が平成28年度で計画期間を終えるにあたり、平成28年10月から南丹市行政改革推進委員会で審議されました。このたび、第3次大綱案がまとまったことから、2月23日、同委員会から佐々木市長へ答申されました。

第3次大綱は平成29年度から平成33年度を計画期間としており、今後も厳しい財政状況が見込まれる中、効果や効率、持続性のある市政運営を推進することとしています。

市民の健康増進を検討する

— 平成28年度第3回南丹市
健康づくり推進協議会 —

3月7日、市民の健康づくりを推進するための、総合的な取り組みについて研究協議する平成28年度第3回南丹市健康づくり推進協議会を開催しました。

会議では、これまで取り組んできた介護予防事業「インターバルウォーキング」や「弁当の日」などについて報告が行われ、今後の取り組みの方向性やいかにして参加者呼び込みを検討。地域で健康づくりが根付いていく方法などについて、活発な議論が交わされました。



▲意見交換を行う委員

地元に愛される消防団員に

— 平成29年度南丹市消防団
入退団式および辞令交付式 —



▲中島団長から辞令を受ける新入団員

4月1日、国際交流会館イベントホールで、平成29年度南丹市消防団入退団式および辞令交付式が行われ、33人が退団、36人が入団されました。

佐々木市長が式辞を述べた後、中島勲団長が新入団員に辞令を交付しました。中島団長は新入団員に「地域住民の生命と財産を守るという大きな責務を果たすため、日頃の訓練に真剣に取り組み精進してほしい」と激励しました。